



# 鶏 けいめい 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## パウロの言葉

「尊敬をもって互いに相手を優れた者と思  
いなさい」

### 聖書(ローマ書12章10節)

牧師 河合裕志

この言葉、なかなか耳が痛い。尊敬よりは相手を馬鹿にする、低くみる、軽んじることが多いから。

世の中には実際に優れた者がおり、尊敬に値する人々が見られる。山中伸弥教授といったノーベル賞級の人達、あるいは北島康介等のオリンピックで金メダルをとったという者は頭脳や技能が抜群ということになる。その他古今東西、優秀で尊敬できる人々はきら星の如く輝いている。

しかし大体の人はそうではない。どんぐりの背比べ、そんなに違わない。だから上記の言葉はそのまま実行するのは難しい。パウロさん、そんな無理言わないで。

でも折角だからこの線で可能性をさぐってみたらどうなる。どうしたら相手を尊敬をもって優れた者と思える？

①どんな人も神の作品と見なすことが出来たらどうだろう。「神は御自分にかたどって人を創造された」(創世記1章27節)。だから人間には神のように考えたり、創ったり、語りかけたりすることが出来る。これって素晴らしい？誰にもこの能力が与えられている者として互いに優れた者と見られれば。

②「その兄弟のためにもキリストが死んでくださったのです」(コリント前書8章1

1節)ということがわかって来たら相手を見る目が変わってくるかも。キリストの死はその人、その人の罪が赦されるための犠牲ということ。神の子キリストの血位、高価なものはないとすれば、どの人もどの人も高価な者に見えてくる。敬って見られるのでは。

③どんな人にもキリストが宿っている、と思うことが出来たらどうだろう。これはかなり見方が変化してくる。「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(マタイ福音書25章40節)。わたしイエスはどの人にも、特に小さい者、困っている者の心の内に居るので、これを助ける人はわたしを助けたと同然だよ、とイエスは明らかにした。誰の内にもイエス・キリストが宿っていると想像出来れば、貴い人に会うような、尊敬の念をもって接近出来るかも。これを馬鹿にすることは難しくなるのでは。

④どんな人も「それぞれ異なった賜物(たまもの)を持っています」(ローマ書12章6節)。ノーベル賞級のものでなくても神は誰にも良いもの一つは下さっている。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時